

国の移動 ～解説～

今回も原理は数学です。前回同様

奇数 + 奇数 = 偶数

偶数 + 偶数 = 偶数

奇数 + 偶数 = 奇数

の原理を利用しています。




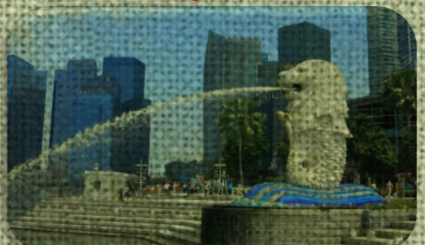
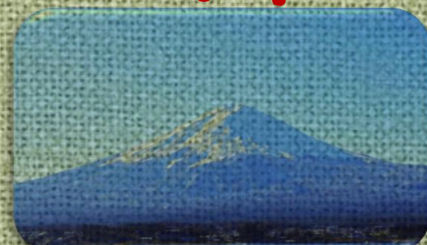


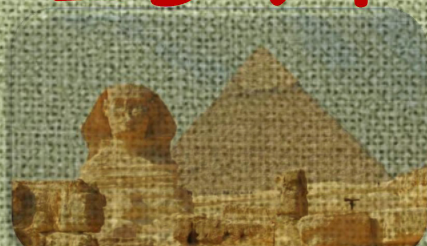

説明するとき、国名のみだと長くなるので

国名を番号におきかえます。ポイントは、

国名の文字数が奇数が偶数か、ということです。

文字数が奇数の国は、奇数番号に、

文字数が偶数の国は、偶数番号になっています。

スイス 	フランス 	ロシア 
シンガポール 	日本 	アメリカ 
カナダ 	エジプト 	カンボジア 

スイス 1 	フランス 2 	ロシア 3 
シンガポール 4 	日本 5 	アメリカ 6 
カナダ 7 	エジプト 8 	カンボジア 9 

1. まず国の文字数だけ移動します。
右の画像の数字をよくみてください。
偶数の数字と奇数の数字は、上下左右で必ず隣り合っているのがわかります。
これは、移動が上下左右のみですので、移動するときに、必ず奇数と偶数を交互に移動する、ということになります。

スイス 1	フランス 2	ロシア 3
シンガポール 4	日本 5	アメリカ 6
カナダ 7	エジプト 8	カンボジア 9

また、
奇数番号の国の文字数は奇数、偶数番号の国の文字数は偶数
となつていますので、

奇数 + 奇数 = 偶数、偶数 + 偶数 = 偶数、奇数 + 偶数 = 奇数
が成り立つわけです。

具体的に見てみましょう。

仮に、奇数番号の国を選んだとします。

最初はその国の文字数だけ移動しますので、

移動する数字は**奇数**です。ということは、

奇数 + 奇数 = 偶数の原理から、移動先は

偶数番号の国になります。

スイス 1 	フランス 2 	ロシア 3 
シンガポール 4 	日本 5 	アメリカ 6 
カナダ 7 	エジプト 8 	カンボジア 9 

もし、偶数番号の国を選んだとします。

その国の文字数だけ移動しますので、移動する数字は**偶数**です。

ということは、

偶数 + 偶数 = 偶数の原理から、移動先は**偶数番号**の国になります。

よって、どの国を選んでも**1回目の移動先は偶数番号の国になる**ということがわかります。

偶数番号の国に移動したわけですから、奇数番号の国を消しても問題ありません。よって、スイスとカンボジア消します。もちろん、ロシア、日本、カナダも消すことができますが、端から順に消していかないと、途中で通れる道がなくなってしまう可能性があるのです。日本を消すことはできません。コーナーにある国を消しますので、ロシアとカナダを消すことは可能です。

×	フランス 2	ロシア 3
シンガポール 4	日本 5	アメリカ 6
カナダ 7	エジプト 8	×

2. 次は5つ動きます。

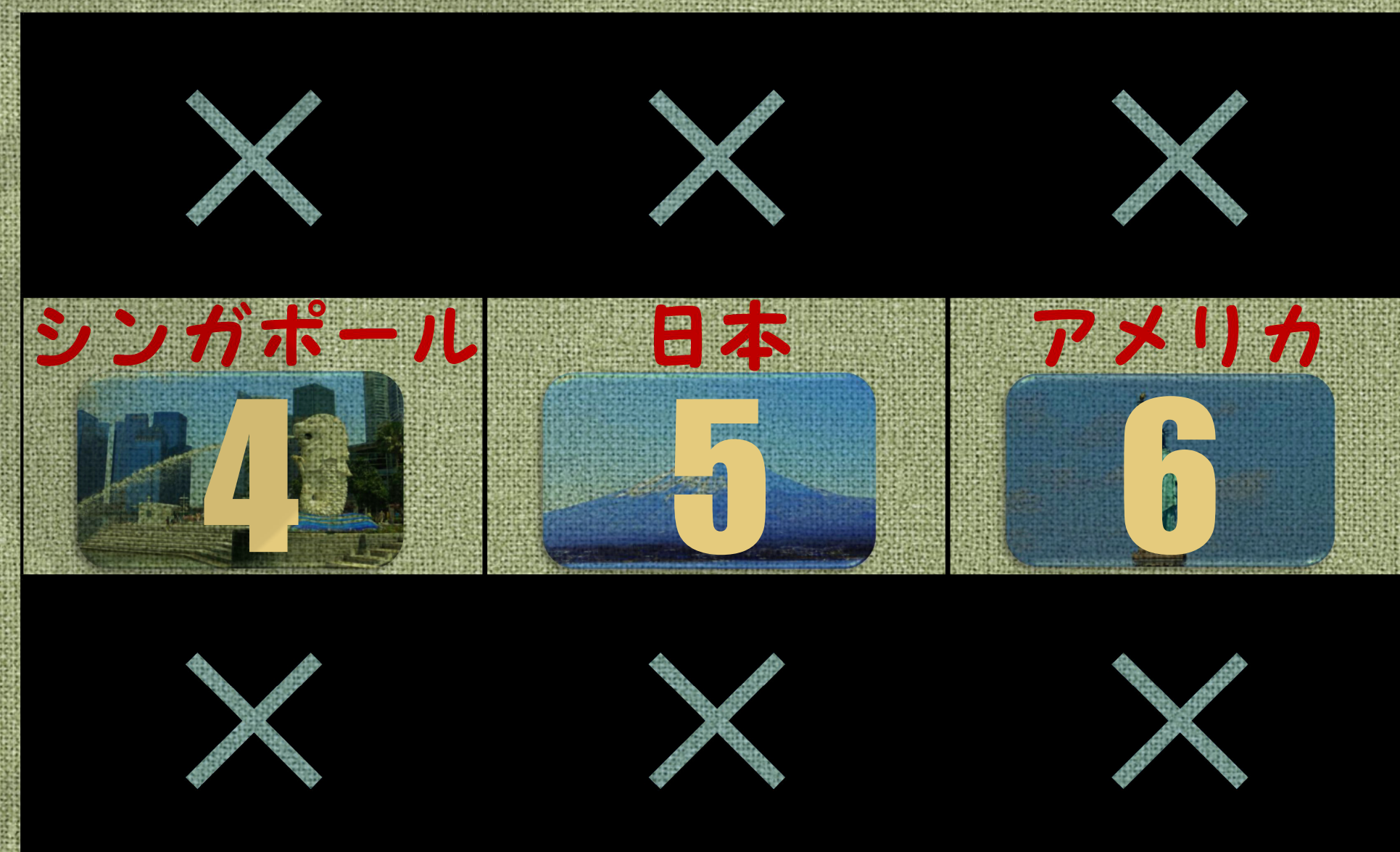
今は偶数番号の国にいますので、偶数+奇数(5) = 奇数の原理から、移動先は必ず奇数番号の国になります。

よって、偶数番号の国であるフランス、シンガポール、アメリカ、エジプトを消すことができます。今回はフランスとエジプトを消します。

2. 次は3つ動きます。
 今は奇数番号の国にいますので、
 奇数+奇数(3) = 偶数の原理から、
 移動先は必ず偶数番号の国になります。
 よって、奇数の国であるロシアと
 カナダは消すことができます。



3. 最後は1つだけ動きます。
 今は偶数番号の国にいますので、
 偶数+奇数(1) = 奇数の原理から、
 移動先は必ず奇数番号の国になります。
 というか、どう考えても日本にしか
 移動できないですよ。



わかりましたでしょうか。

このように、**足し算の結果の法則から**
どう頑張っても、同じ結論に向かって
移動することになります。

「**移動の方法は何パターンもある**」

と考えてしまいますが、ルールにある、

「上下左右のみに動く」、「1文字で1マス動く」

という制限が入ることで、奇数、偶数の足し算の結果である**3通りの移動**しか
できないわけです。

消去する国を変えることで、たどり着く国を変更することができますので、
ぜひトライしてみてください。

